



**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2007**

CONTENTS

ご挨拶	1
審査委員講評	2・3・4
審査委員一覧	5
日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞	6
日本真珠振興会会長賞	6
厚生労働大臣賞	7
東京都知事賞	7
日本ジュエリー協会会長賞	8
第1部門 優秀賞	9
技術賞	9
佳作	9・10
入選	10・11
DTC賞	10
第2部門 優秀賞	12
プラチナ・ギルド・インターナショナル賞	12
技術賞	12
佳作	12・13
入選	13・14・15
日本ジュウリーデザイナー協会会長賞	13
第3部門 優秀賞	16
技術賞	16
佳作	16
入選	17
第4部門 新人大賞	18
新人優秀賞	19・20
入選	21・22・23

日本のジュエリーの最高峰を求めて JJAジュエリーデザインアワード2007

“JJAジュエリーデザインアワード2007”は、独創的で先進的な優れたジュエリーを公募し、入賞・入選作品を国の内外に向けて発信する場です。

真に美しい作品は、国を超え、人々の心に共感と感動を呼び起こします。ジュエリーの歴史こそ浅いわが国ですが、固有の美しい文化と伝統を背景に、未来を見つめた新しいジュエリーを求め、提案し続けて行かなければなりません。

“JJAジュエリーデザインアワード2007”はそのカテゴリーを、装うシチュエーションによって分類したところに特徴があります。

デザインの開発が、ものとしての美しさや完成度に留まらず、人が装うために必要な感性や機能を満足させるものであるかを問い直しています。

晴れの日や華やかな場における、豪華で格調高い装いや、ファッショナブルな装いに相応しいジュエリーを第1部門“パーティーシーン”のジュエリーとし、オフィスやフレンドリーな席での自己表現、何気ない装いのさりげないアピールなど、日常使いのできるジュエリーを第2部門“カジュアルシーン”のジュエリーと位置づけました。又近年、ジュエリー周辺小物として重要な位置を占め、新しい提案が強く要望されている第3部門“クラフト&ギフト”は昨年度に引き続き「For MEN…男の小物」のテーマを本年も踏襲いたしました。

新人や学生を対象とする第4部門“フレッシュゾーン”では、敢えて素材をフリーにして、より自由な発想、新しい可能性への挑戦、意欲的な提案を若い世代に期待しています。

“JJAジュエリーデザインアワード2007”は日本のジュエリー文化の高揚を目的に、世界に発信できる日本のジュエリーの最高峰を求め続けます。

主催 社団法人日本ジュエリー協会

後援 経済産業省

厚生労働省

東京都

協賛 社団法人日本ジュウリーデザイナー協会

社団法人日本真珠振興会

ダイヤモンド・インフォメーション・センター

プラチナ・ギルド・インターナショナル

ご挨拶



社団法人 日本ジュエリー協会
会長

今西 信裕

Imanishi Nobuhiro

社団法人日本ジュエリー協会（JJA）では、日本で最も広く認知され、かつ、権威と格式のある日本最高峰のジュエリーコンテストを目指して、毎年「JJAジュエリーデザインアワード」を開催しております。

この度、2007年度「日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞」を初め、各入賞作品が選定され、「ジュエリーデザインアワード2007」作品集として、皆様にお届けすることが出来ますことを大変光栄に存じます。

JJA主催の「ジュエリーデザインアワード」は、日本のジュエリー産業の発展とジュエリー文化の向上のための啓蒙事業の一環です。応募者、デザイナー、製作者がジュエリーの可能性と創造性を最大限に発揮して、独創的かつ、先進的ジュエリーを国内はもとより、海外に向けて発信する機会でもあります。

消費者ニーズの多様性や商品を見る目も飛躍的に高まり、お客様の好まれるジュエリーは、デザインの感性にすぐれた、個性的、独創的かつ特徴のあるジュエリーでないとは買っていただけない時代となってまいりました。知の価値がますます尊ばれる時代です。商品を差別化するためのデザインの価値が、その重要性をますます高めているということです。その機会を提供する「ジュエリーデザインアワード」が以前にもまして関心を持たれ、応募数も多くなる意味がここにあります。日本のジュエリー産業の将来を担う、新しい感性や才能を秘めた若い・新鋭の人達や、ジュエリーデザインに携わる多くの

方々にご参加いただき、皆様のユニークな作品の出品を大いに期待いたしておるところです。

今回もおかげさまで、いづれも優劣つけがたい、大変素晴らしい作品が数多く寄せられました。私共が期待し、目指している日本で最高峰のジュエリーコンテストの理念が、皆様応募者の作品に、回を重ねるごとに着実に表われてきたと感じられ大変頼もしく、心強く感じております。

その中より、厳正な審査により入賞作品が選定されました。

この作品集は全応募作品408点の中から最優秀賞の「日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞」を初め、各部門賞に輝いた受賞作品を、ご紹介しております。皆様には、デザインの美しさや、加工技術の巧みさだけではなく、その着想や独創性を、また今のファッションシーンをイメージしながら、ご覧いただければ幸いです。

「ジュエリーデザインアワード」は今後も、JJAの活動の一つの大きな目玉として、日本ジュエリーの素晴らしさを世界に発信する場として、今後ますます大きく発展していくものと確信いたしております。

ジュエリーを愛する皆様を初め、関係省庁、関係団体、報道関係の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

審査委員講評



審査委員長

東京芸術大学 教授 工芸科彫金

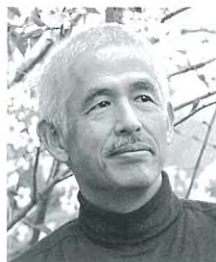
飯野 一郎

Iino Ichiro

ジュエリーは古代よりその時代の最先端の技術、最高の素材のもとに文化の象徴として存在していました。近代に入るとマスプロダクションや大衆化により、人々の生活の中に入り込んできます。では、現代そして未来におけるジュエリーをどう捉えたらよいか、そういう思いを馳せながら審査に臨みました。

第4部門の応募数に減少が見られましたが、他は例年通りで多彩な作品が集まり、カジュアルシーン、パーティシーンに力作が多く見られたため非常に厳しい結果となりました。受賞作はどれも明快なテーマのもとに制作されていますが、大賞を受賞した作品はメッシュという不安定な素材を確かな形態にし、夢のある表現が豊かな広がりを感じさせる逸品といえます。

現代のジュエリーは現在の感性と様々な技術力をふまえ、あらためて日本の文化そのものと認められる提案がなされるべきではないでしょうか。



第4部門 デザイン画審査委員長

社団法人
日本ジュエリーデザイナー協会
会長

三木 稔

Miki Minoru

コンテストではその時代を反映したメッセージ性の強いものを探ることが多いのですが、今回もそういった印象深い作品が多くあり、楽しい審査をさせていただきました。

日本ジュエリー大賞をとったネックレスは素材の可能性をうまく引き出し、 TENTU 虫などが花々の間を飛びまわり、ほのぼのとした癒される作品に仕上がっていました。

(社)日本ジュエリーデザイナー協会会長賞に選ばせていただいたリングは、造形としても魅力的な作品となっており、構造を駆使して石がセットされ、その挑戦している姿勢に好感を覚えました。第4部門のフレッシュゾーンではデザイン画の審査段階でも大変優秀なものが多くあり、実作ではさらに楽しい気分になしてくるものでした。新人大賞のアルミとフィルムを組み上げたジュエリーは、形が弾むように変化し見る者を不思議な気持ちにさせる作品でした。若い人の感性にはいつも新鮮なものを感じます。これからのさらなるご活躍を楽しみにしております。



ジュエリーデザイナー

石川 暢子

Ishikawa Nobuko

回を重ねアワードのコンセプトが応募者に浸透してきた結果、と言えるのかもしれませんが、この度は特に安定したレベルの拮抗で、優劣の選択には苦慮いたしました。

また、第4部門を除く全般を通しての印象としては、少し市場の「今」に近づきすぎた感が否めないようにも思われました。

その中で、柔らかな彩りでひととき目を惹いたのが「日本ジュエリー大賞」に輝いた作品です。これはデザインだけで完成できるものではなく、素材・技術とのコラボレーションから生まれた成果だと思われます。しなやかなネット素材の特性を十二分に活かした作品から、これからの商品開発のありようの一端が垣間見えるのではないのでしょうか。

多種多様なデザインの混在は日本市場の特性でもあります。更に洗練され精彩を放つデザインやスタイルの提案が待たれていることも現実だと思います。

コンテストは、明日への指標を示す事や、夢や感動を伝える事もその重要な役割になっています。市場の創設や活力につながる新しい提案や魅力に溢れた作品が、このアワードから発信されることを楽しみにしています。



卓越技能者（現代の名工）

今井 政芳

Imai Masayoshi

数年前当コンテストで受賞した経験を生かして、各作品からのメッセージを受け止めました。

応募された方々の心意気が作品を通して伝わってきます。

立場上、技術賞に係わったのですが上位に受賞された作品は、いずれも甲乙つけ難い完成度の高いものでした。

第一部門で唯一裏取りが施されていた作品を技術賞としました。コンピューターを使った作品かと思いますが、宝石をより美しく表現するために施される「裏取り」の技法は近年少なくなっております。内容は充分ではないものの、技能の基本を施した点を評価しました。

また、同じ第一部門で若いデザイナーの感性を熟練した技術者達が一体となって作品を作り上げた様子が、コメントから伝わり、最も大切なデザインと技能の融合を感じて感動しました。

昨年は第四部門のデザイン画の審査を担当しましたが、今回は実作品に携わることが出来光栄でした。

仕上がりはもう少しの感がありますが、デザイナー自身が製作しているのはすばらしいと思う。若い斬新な感性と共に受賞された方々の今後を大いに期待したい。

このデザインアワードの上位入賞作品は日本のジュエリーとして世界に羽ばたくことを願っています。



サンケイリビング新聞社
シティ事業カンパニー
カンパニー長

植田 奈保子

Ueda Naoko

ジュエリーの定義を改めて考えさせられるほど、この審査は難しいものでした。入賞された皆様には心からお祝い申し上げます。

私は、ジュエリーはやはり身に着けて馴染むもの、美しいか楽しいか心弾むものであってほしいと思いました。対象作品には大変ユニークなものも多くありましたが、身に着けづらいものや動くとき邪魔になりそうなもの、着けたイメージが湧かないものには惹かれませんでした。

フレッシュゾーンの候補作品はいずれも非常に判断が難しく上記の基準で悩みましたが、1点とても残念な作品がありました。合成皮革にアニメや古典美術の人物のジュエリーの画像をプリントして切り抜いたもので、これがジュエリーなのかは悩みましたが、カジュアルに身につけたら可愛いだろうと、私は惹かれた作品でした。ところが画像の出所に著作権の確認をしていないということで入選できませんでした。来年に向けて応募されるデザイナーの皆さんも、クリエイターとして著作権や類似デザインへの配慮は怠らないでほしいと思います。



日本真珠小売店協会
会長

木下 章

Kinoshita Akira

今回で3回審査会に出席し、審査をさせていただきましたが、今回の参加作品も、新鮮なデザインに優秀な細工技術を加味した作品が多く見られ、我が国が誇るジュエリーが、既に、世界にも通用する優秀な地位を築き上げたと確信しており、大変喜ばしいことです。

各部門の作品は、大柄な作品と実用向きの作品がみられましたが、どの作品もそれぞれの特徴が発揮された優れた作品でした。

特に第4部門（新人部門）の作品は、大胆な作品がみられ、若い人の感性が表現されており、今後とも美しい優秀な特徴のあるジュエリー開発について、ご活躍とともに期待しております。

日本ジュエリー大賞に選ばれた作品は、蝶やハチが穏やかな陽光のなか花々の間を飛び回っているイメージが的確に表現された優れた作品で、フォーマルな席やファッショナブルな装いに相応しいジュエリーで好感がもたれました。

同時に（社）日本真珠振興会会長賞として選考させて頂きました。



ジュエリーコーディネーター
1級資格者

佐々木 幹雄

Sasaki Mikio

小売を代表するジュエリー・コーディネーターとしては、日頃接している「商品」とは異なる、優れた主張を秘めたジュエリーたちに出会って大変な衝撃を受けました。小売の現場にいる多くの者にとって製作過程はブラックボックスであり、結果である商品を表面的な部分だけでお客様にお勧めしています。今回の審査に参加して、小売に携わる者こそ、こういったコンテストの出品作を通して、作り手側の熱いマインドを感じ取って欲しいと痛感しました。

今回の上位入賞作品で目を引いたのは、色の使い方でした。通常ジュエリーにおける色の担い手はカラーストーンですが、大賞作品の、パールと対立しつつ引き立たせている巧みなエナメルの色使い、東京都知事賞作品の和の色の消化の仕方などは、色彩表現の新しい可能性を認識させてくれるものでした。

また第4部門の新人の作品群は、業界的なものに染まっていない初さを感じさせてくれる作品ばかりでした。どうかそのピュアなスピリットを持ち続けて、この世界に新しい風を吹き込んでください。

最後に、時間的その他の事情で今回応募できなかった皆さんに一言。ジュエリーは小さな宇宙ですが、人とその空間を共有するためには、媒介となる作品がなければなりません。どうかもう一歩踏み出して、来年は絶対にご応募下さい。小売の人間は、新しく小さな宇宙の誕生を何より楽しみに待っています。

応募数・作品数

・プロフェッショナルゾーン

第1部門	パーティーシーン	38応募	79作品
第2部門	カジュアルシーン	101応募	148作品
第3部門	クラフト&ギフト	13応募	29作品

・フレッシュゾーン

第4部門	フリーマテリアル（新人部門）	152応募	152作品
計		304応募	408作品

入賞・入選作品

59応募 110作品

審査委員一覧

(五十音順)

■プロフェッショナルゾーン

飯野 一郎	東京芸術大学 教授 工芸科彫金
石川 暢子	ジュエリーデザイナー
今井 政芳	卓越技能者（現代の名工）
植田奈保子	サンケイリビング新聞社 シティ事業カンパニー カンパニー長
小川 敦子	グラン・マガザン ジュエリー編集長
落合真由美	ミセス編集部 副編集長
木下 章	日本真珠小売店協会会長
佐々木幹雄	ジュエリーコーディネーター1級資格者
柴田真理子	毎日新聞社 生活家庭部
福田 詞子	婦人画報編集部 編集長代理
松葉 惇	社団法人日本ジュエリー協会前副会長
松本 和佳	日本経済新聞社 生活情報部
三木 稔	社団法人日本ジュウリーデザイナー協会会長

■フレッシュゾーン

石井比功次	卓越技能者（現代の名工）
大場よう子	日本宝飾クラフト学院 学院長
影山 公章	学校法人水野学園 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 学部長
西山 志郎	文化服装学院 教授
三木 稔	社団法人日本ジュウリーデザイナー協会会長
門馬 宏子	学校法人杉野学園 ドレスメーカー学院 教授
横山 裕	ジュエリーデザイナー

(特別賞)

木下 章	社団法人日本真珠振興会 理事
平良 美樹	ダイヤモンド・インフォメーション・センター
三木 稔	社団法人日本ジュウリーデザイナー協会会長
武者 智子	プラチナ・ギルド・インターナショナル

日本ジュエリー大賞
経済産業大臣賞
日本真珠振興会会長賞



大城信子/田中すずよ/宮口知佳:デザイナー
Ohshiro Nobuko/Tanaka Suzuyo/Miyaguchi Chika

(株) 桑山: 製作者/応募者

おだやかな陽光の中
花々の間を飛び回っている
蝶やハチ 羽を休めている
てんとう虫
やわらかな色彩と質感で「花園」をイメージしました。

大城信子

1981 (株) 桑山入社
2000 JJAジュエリーコンテスト労働大臣賞
2000 JJAジュエリーコンテスト東京都知事賞
2000 JJAジュエリーコンテスト佳作
2004 JJAジュエリーアワード入選
2005 JJAジュエリーアワード佳作

田中すずよ

1991 (株) 桑山入社
2000 JJCジュエリーコンテストPGI特別賞
2002 JJAジュエリーコンテスト佳作

宮口知佳

1981 富山生まれ
2000 高岡短期大学産業工芸学科卒業
2002 JJAジュエリーコンテスト2002佳作
2004 JJAジュエリーアワード2004入選



K18 (YG・WG) / シロチョウ真珠/アコヤ真珠/ (エナメル) / ネックレス・イヤリングセット



K18 (YG・WG) /D/マルチ/プレスレット・リングセット



K18WG・革紐/D/ (ウレタン塗装) /ネックレス・ブローチセット

厚生労働大臣賞



田口広明: デザイナー
Taguchi Hiroaki

田口広明: 製作者
(株) ジュエリー・ミウラ: 応募者

春に咲き乱れる花の艶やかさを石の反射を使って表現しました。
見る角度、光のあたりかたによって表情を変え、身につける人が、太陽をあびた花のエネルギーを感じることが出来ればと思い製作しました。

- 1970 千葉生まれ
- 1991 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ卒業
- 1991 (株)ジュエリー・ミウラ入社
- 2002 JJAジュエリーアワードジュエリー協会会長賞受賞
- 2005 JJAジュエリーアワード入選

東京都知事賞



中山恵美: デザイナー
Nakayama Emi

(株)ナガホリ: 製作者/応募者

テーマ: FULL OF LOVE
恋人への愛、家族への愛、友人への愛、生きものへの愛。
たくさんの愛で満たされた心をイメージしました。
女性用ネックレスと男性用ピンブローチは組み合わせてご使用いただけます。

- 1968 東京生まれ
- 1988 ヒコ・みづの宝石専門学校卒業
- 1991 インターナショナルパールデザインコンテスト銅賞
- 1991 インターナショナルパールデザインコンテスト入選
- 1992 PGIクリエーターハウス'92PGI特別賞
- 2006 JJAジュエリーデザインアワード2006佳作



Pt950/D/R/ (黒Ruめっき) / ネックレス・ピアスセット

日本ジュエリー協会会長賞



浅田敬子: デザイナー
Asada Keiko

(株) 桑山: 製作者/応募者

ジャポネスクをテーマに。
プラチナの清謐で優美な輝きの中、赤と黒のコントラストを効かせた扇が妖しさを演出。円形の中央と左右のパーツは穏やかに回転し表情を変える。クラスプを前面に配しデザインのポイントに。

- 1956 大阪生まれ
- 1978 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業
博報堂イラストコンペ入選
インターゴールドジュエリーコンテスト入選
デ・ビアス国内ダイヤモンドコンテストメンズ部門入選
- 2006 JJA ジュエリーデザインアワード第1部門
優秀賞及びプラチナ・ギルド・インターナショナル賞(重賞)

第1部門・優秀賞



K18 (WG・YG・PG) /D/S・マルチ/ネックレス・ピアスセット



K18 (YG・PG) /S/D/ネックレス・リングセット

佳作



Pt900・K18/D/D/リング・イヤリングセット

技術賞



吉倉 太: デザイナー
Yoshikura Futoshi

(株) 桑山: 製作者/応募者

世界平和を願ったメッセージジュエリーです。人と人が互いに手を取り合い、クラスプの2人が腕を組むことでこのジュエリーは完成されます。

1965 大阪府生まれ
1989 武蔵野美術大学卒業
1991 (株) 桑山入社
2005 JJAジャパンジュエリーアワードグランプリ受賞



杉山 彩: デザイナー
Sugiyama Aya

社内制作室: 製作者
(株) ペガサス: 応募者

月の光が輝く静寂な夜、月明かりに照らされた水面に浮かぶ花をイメージしました。
花の配色、表現だけでなく、原型制作から研磨、組み立てまで職方と共に制作しました。
業界にお世話になり2年足らずですが、身に余る賞を授かり大きな励みになりますと共に深く感謝致しております。

1981 群馬県生まれ
2002 華服飾専門学校卒業
2005 (株) ペガサス入社

洗谷純希: デザイナー
Araiya Sumiki

洗谷純希: 製作者/応募者

自分の得意な技法である透かしを用いて、金メダルをイメージし、デザイン・制作しました。
人生の中で金メダルを貰うことは中々ありませんが、人には必ず一番になれる何かを持っていると思います。それは競い合うものではない事かも知れません。一番なのに金メダルを貰う機会のない方に身に付けてほしいです。



K18WG/パール/D/ネックレス・ブローチ*リングセット

小林由紀: デザイナー
Kobayashi Yuki

篠原貿易(株): 製作者/応募者

9つのパールが織りなす宇宙空間オペラ。パールは銀河に広がる惑星のように…。それぞれの色や位置が互いに牽制しあいながらも引きつけあう絶妙なバランス。パールの位置関係からできるその空間感を意識し、デザインしました。

入選



K18WG・K14WG/D/D/かんざし・イヤリングセット

口 佳枝: デザイナー
Kuchi Yoshie

社内制作室: 製作者
(株) ペガサス: 応募者

プリンセスのティアラのように華やかで気品あるヘアージュエリーにしたいと思い、ダイヤモンドの恒久的な美しさ、「白」を基調に軽やかに輪を描くリボンイメージいたしました。イヤリングはアシンメトリーな流れのあるリボンにし、耳の裏側までダイヤモンドをあしらいました。今回受賞することができ、大変嬉しく思います。



K18WG/D/ネックレス・ピアスセット

伊藤彩子: デザイナー
Ito Ayako

杉本邦夫: 製作者
(株) ケイエフ: 応募者



K18WG/D/D・R・S/ペンダント・ブローチセット

中尾美穂: デザイナー
Nakao Miho

(有) ジュエリーC&C 曹孝善: 製作者
(株) ナガホリ: 応募者



Pt900・K18/S/D/リングセット

蓮沼孝也: デザイナー
Hasunuma Takaya

ジュエリー田原: 製作者
(株) 武山: 応募者



Pt950・Pt900・K18/ファイアーオパール/D/
ネックレス・リングセット

坂東幸香: デザイナー
Bando Sachiko

鈴木和則: 製作者
(有) 優: 応募者



K18WG/D/ペンダント・ブローチ・リングセット

三沢美恵子: デザイナー
Misawa Mieko

橘田雄一: 製作者
(株) 高野貴金属: 応募者



K18 (WG・YG)・Pt900/シロチョウ真珠/D・マルチ/
ネックレス・リングセット

吉田園子: デザイナー
Yoshida Sonoko

栄光時計(株) 広島営業所: 製作者/応募者

第2部門・優秀賞



Pt900/D/ (七宝) /リング

プラチナ・ギルド・インターナショナル賞 技術賞



簗和田幸恵/簗和田 元: デザイナー
Minowada Yukie/Minowada Hajime

簗和田 元: 製作者
ミノワダジュエリークラフト: 応募者

テーマは「海風」

夏の暑い日差しの中、海から運ばれる心地良い風をイメージしました。

- 1973 東京生まれ
- 1994 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ卒業
- 1997 (株)タカヤジュム退社後フリーデザイナーとして活動
- 2003 ミノワダジュエリークラフトを設立
- 2005 長谷川淑子ヴィトレマイユアカデミーにて七宝を学ぶ
- 2005 JJAジュエリーデザインアワード入選
- 2006 JJAジュエリーデザインアワードグランプリ・経済産業大臣賞
- 2007 国際七宝ジュエリーコンテスト入選



K18/D/ シロチョウ真珠/ (七宝) /ブローチ



首藤 治: デザイナー
Shudo Osamu

首藤 治: 製作者
(有)ジュエリークラフトシュドウ: 応募者

「静から動」がテーマ。部屋の中にある絵画を外へ持ち出したくなった時に身につけるジュエリー。初夏の自然の営みをモチーフとし小鳥にはトレンブラン技法の1つを使い「生」の息吹を伝えたく考えました。

- 1955 熊本県出身
- 1975 岡村光也氏に師事 (名古屋市在住)
- 1986 独立開業/1級技能取得
- 1993 第12回技能グランプリ金メダル及び労働大臣賞受賞
- 1994 コンテンポラリーダイヤモンドデザインコンテストベストクラフトマン賞受賞
- 1999 愛知県優秀技能者表彰

佳作



K18WG/S/D/リング

藤井雅子: デザイナー
Fujii Masako

(株)ヨウジ: 製作者/応募者

石の特性を活かし、アンティーク調を取り入れながら、新しい形を追求しています。

全面から石に光が入り、揺れることで、よりデザインが活きてきます。



K18 (YG・WG)・Pt900/D/ペンダントセット

村田宝飾(株):デザイナー
Murata Houshoku

村田宝飾(株):製作者/応募者

「SUKI」とは、自由な発想で楽しむライフスタイル「数奇」を象徴するブランド。ヤングカルチャーを象徴するカジュアルなファッションアイテムをモチーフに、表現したかったのは、『自由な遊び心』。たとえば、ハリウッドのセレブみたいに、個性がビームとして照射されているような、そんな人にしか似合わないジュエリー。

入選



K18/スモーキークォーツ/マルチ/リングセット

日本ジュウリーデザイナー協会会長賞

小嶋崇嗣:デザイナー
Kojima Takashi

小嶋崇嗣:製作者/応募者

石というものはそのまま美しい。
そのシンプルな魅力をどのような視点でみせればよいのか。
このリングは石留めに金属の張力と下からのテンションを用いることにより、石ワクの必要性を小さくしています。
これにより石の魅力が素直に伝わるように心がけました。



K18 (WG・PG・YG) /E/D/ペンダント

伊賀彰彦: デザイナー
Iga Akihiko

(株) コカクリエーション: 製作者/応募者



Ag950/リング

伊藤達美: デザイナー
Ito Satomi

伊藤達美: 製作者/応募者



K18/珊瑚/ネックレス

笠井百合: デザイナー
Kasai Yuri

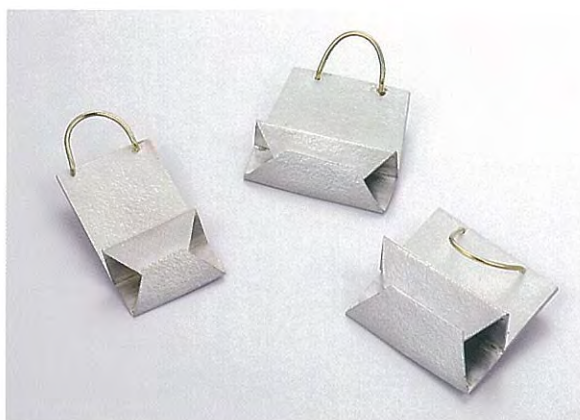
笠井百合: 製作者
アブリエンドプエルタス: 応募者



K18/D/D/リング

黒河内みどり: デザイナー
Kuroguchi Midori

黒河内みどり: 製作者
ジュエリー工房かざり: 応募者



Ag950・K18/ブローチセット

左口喜久江: デザイナー
Saguchi Kikue

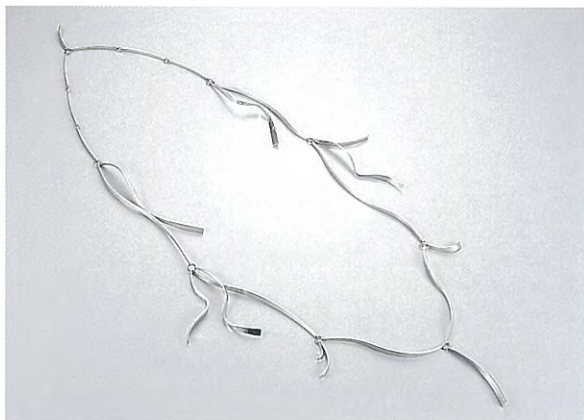
左口喜久江: 製作者/応募者



Pt950/D/D/リング

首藤 泉: デザイナー
Shudo Izumi

首藤 治: 製作者
(有) ジュエリークラフトシュドウ: 応募者



Ag925・K18/ネックレス

諏訪 薫: デザイナー
Suwa Kaoru

諏訪 薫: 製作者/応募者



Pt900・K18 (YG・PG) /D/リング

田中弓美: デザイナー
Tanaka Yumi

中谷森夫: 製作者
(株) 光彩工芸: 応募者



Pt900・K18WG/トパーズ/D/ピアス

中山由紀子: デザイナー
Nakayama Yukiko

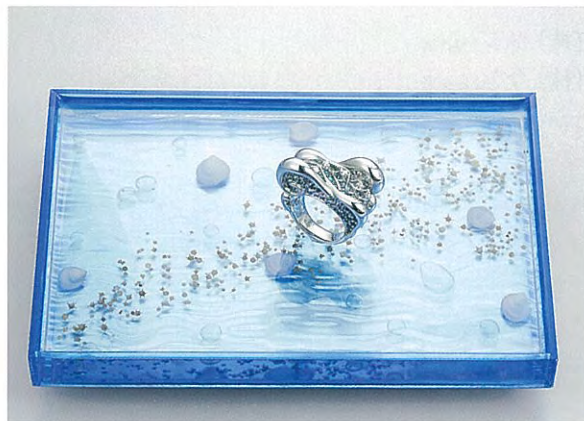
京宝飾: 製作者
(株) みつわ: 応募者



K18 (WG・YG) /D/S・R/リング

古澤英和: デザイナー
Furuzawa Hidekazu

古澤英和: 製作者
(株) 幸新: 応募者



Pt900/マルチ/D/リング

横山小百合: デザイナー
Yokoyama Sayuri

(株) ジロングジュエリー: 製作者
(株) 野辺商店: 応募者



Pt900・K18/シロチョウ真珠/D/ブローチ

吉田園子: デザイナー
Yoshida Sonoko

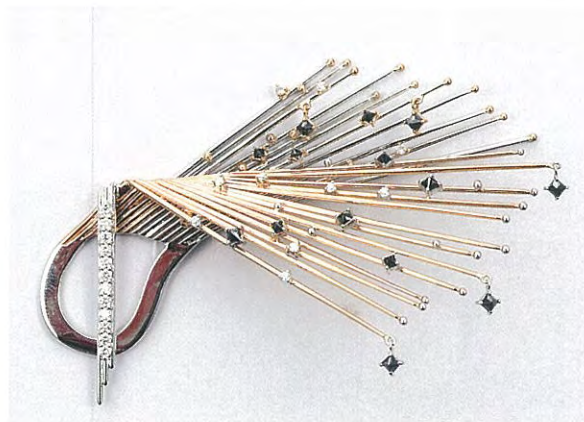
栄光時計 (株) 広島営業所: 製作者/応募者

第3部門・優秀賞



K18/D/R/ブローチ・カフリンクセット

佳作



K18 (WG・YG)・K14WG/D/D/ポケットチーフクリップ

技術賞



高嶋克幸:デザイナー
Takashima Katsuyuki

狩谷知孔:製作者
(株)みつわ:応募者

機能性と精緻な美しさを持つ機械式時計のムーブメント。
そういうレベルに少しでも近づくデザインができれば、メンズ
ジュエリーももっと楽しいと思います。

三澤知子:デザイナー
Misawa Tomoko

(株)フジ:製作者
(株)今与:応募者

今や男性のドレスアップにはかかせないアイテムとなりました
ポケットチーフを、ダイヤモンドを散りばめ、ホワイトとピン
クのラインで造った「ポケットチーフクリップ」、着飾ること
に抵抗のある世代でもコーディネートに取り入れやすいメンズ
ジュエリーのニューアイテムです。

- 1956 東京生まれ
- 1984 ヒコ・みづの宝石専門学校卒業
(現 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ)
- 1987 ダイヤモンドデザインコンテスト審査員特別賞
- 1989 インターナショナルパールデザインコンテスト銅賞
- 1996 インターナショナルパールデザインコンテスト銀賞
- 2005 インターナショナルパールデザインコンテスト銅賞

入選



Pt900・K18WG/マルチ/カフリンク

佐藤道也:デザイナー
Sato Michiya

ニューコーゲイ(株):製作者
(有)ジュエリーシュガー:応募者



Ag1000/メガネフックセット

竹中宗子:デザイナー
Takenaka Muneko

竹中宗子:製作者/応募者



Ag925・アクリル・ステンレススチール/トルマリン/
ビルボックス

麦倉隆晴:デザイナー
Mugikura Takaharu

麦倉隆晴:製作者
Final Works:応募者

新人大賞



平栗あずさ
Hirakuri Azusa

このような賞をいただき、驚いています。凄く嬉しいです。
アドバイスをくれた先生方や友人に感謝の気持ちでいっぱい
です。本当にありがとうございました。

1986 長野生まれ
2006 青山学院大学 文学部英米文学科中退
2006 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ入学（在学中）



アルミニウム・ポリプロピレン/リング・ネックレス・ブレスレットセット

第4部門・新人優秀賞



BS・銅/ボディジュエリー



Ag950・BS・K18・K24・ガラス・ボタン・陶器/
エメラルド原石・淡水真珠/ブローチセット



フェルト・ガラス/ネックレス



原由樹子
Hara Yukiko

スターマインという花火を見てデザインしました。
“あの一瞬の輝きを閉じ込めよう”ということをコンセプトに
花火ならではのダイナミックさと美しさを表現しました。

1985 群馬県生まれ
2006 文化女子大学短期大学部卒業
2006 文化服装学院 ファッション工芸専門課程 基礎科入学
2007 帽子・ジュエリーデザイン科在学



松尾 大
Matsuo Hajime

もし、自分自身の体のパーツで今の自分を一番表現しているの
はどこか?と考えた時に、私は「手」だと考えました。そして、
その「手」の上にこれまでに会った多くの人やたくさんの思い
出を形にする事で、これまでの自分と向かい合い、新たなスタート
を切るきっかけになると考えこの作品を制作しました。

1982 千葉県生まれ
2007 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ卒業
2007 同校研究院コース編入



三宅智美
Miyake Tomomi

テーマをBlossom―実り―とし、秋をイメージしてデザインしま
した。Blossomの文字と秋に実る果実のモチーフをつなげました。
素材はフェルトで作ることによって暖かみを出し、表面にはス
ワロフスキーを縫いつけ冬の前の実りの華やかさを表現しまし
た。

長めに作ったことで巻き方しだいで色々な表情を見せます。

1985 東京生まれ
2006 GAOデザインコンテスト佳作
2007 ファッションと手工芸展入選
2007 銀粘土で作るシルバーアクセサリーコンテスト2007入選
2007 ドレスメーカー学院ファッションビジネス科卒業
2007 ドレスメーカー学院アパレルデザイン科在学中



BS・銅・革/リングセット



Ag950/キュービックジルコニア/リング



山口由佳
Yamaguchi Yuka

飛び出す絵本をイメージした作品です。
小さい頃、本を開くのがとても楽しかった気持ちを忘れないで、
いつまでも楽しめるようなものになるようにと思いを入れてデ
ザインしました。

1988 岩手県生まれ
2006 文化服飾学院ファッション工芸専門課程基礎科入学
2007 帽子・ジュエリーデザイン科在学



梁 秀境
Yan Sugyon

愛している家族が住める「家」をモチーフにしました。
太陽のエネルギーを集めて家を暖かくしてくれるイメージで宝
石を使いました。
リングはちょうがいで作られて全体的に開ける作りになってい
て、まるで建築の平面図のようです。

1980 韓国生まれ
2006 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ入学
2007 韓国ジュエリーデザイン協会のINTERNATIONAL JEW-
ELRY DESIGN CONTEST入選

入選



Ag950・K18/パール/リング

アメミヤヒロアキ:デザイナー
Amemiya Hiroaki

アメミヤヒロアキ:製作者
雨宮宏晃:応募者



アルミニウム・ガラス・針金・ゴム管/
キュービックジルコニア/ガーネット/ネックレス

井戸千尋
Ido Chihiro



銅・樹脂・ラメ/マルチ/(エナメル)/
ボディジュエリー

伊能美晴
Iyoku Miharū



Ag950/キュービックジルコニア/マルチ/リング

川上正宏
Kawakami Masahiro



ベネチアンガラス/ネックレス

川端 操
Kawabata Misao



Ag925・K18/マルチ/珊瑚/
ネックレス・ティアラセット

高田明美
Takada Akemi



布・羽・革/ボディジュエリー

高澤かすみ
Takasawa Kasumi



K18/キュービックジルコニア/
(七宝)/リング

高澤 徹
Takazawa Toru



Ag925/リングセット

谷 史緒
Tani Shio



Ag (1000・925)・樹脂/ブローチ

鶴田絢子
Tsuruta Junko



Ag950・縄跳びの紐・プラスチックビーズ/
パール/ネックレス

中山理代
Nakayama Riyo



Ag (925・950・1000)・赤銅・黒四分一・銅・象牙/
(カシュウ)・(金めっき)/リングセット

松岡 功
Matsuoka Isao



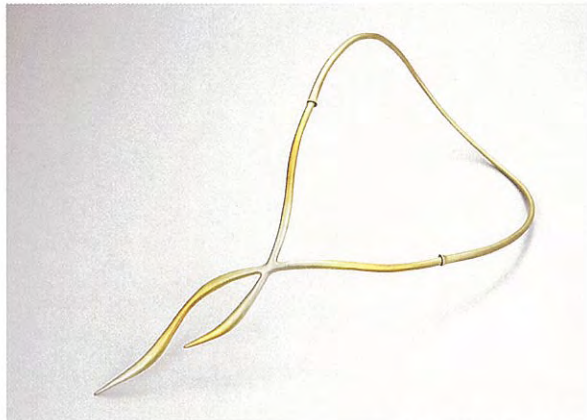
Ag925/キュービックジルコニア/
リング

丸山孝治
Maruyama Takaharu



Ag950/キュービックジルコニア/リング

宮里ひろみ
Miyazato Hiromi



K11~K24/ネックレス

薬師義人
Yakushi Yoshito



Silver・ガラス/リングセット

山口由佳
Yamaguchi Yuka

社団法人 日本ジュエリー協会
ジュエリープロモーション実行委員会

担当副会長	中川 千秋						
委員長	山岡伸一郎						
委員	雨宮 和也	荒井 純二	梶 光夫	梶田 行雄	亀山 実		
	川澄 一夫	菅田 茂	後藤 芳生	近藤千佳之	坂巻 章雄		
	貞松 隆弥	丹羽 卓也	湯本 昭人	横山 裕			
アドバイザー	氏家 和彦	川崎 猛	松崎 憲子				

編集 社団法人 日本ジュエリー協会 ジュエリープロモーション実行委員会
撮影 高木写真事務所
デザイン マンダリンスタジオ
印刷 山口北州印刷株式会社

発行日 2007年8月28日
発行 社団法人 日本ジュエリー協会
〒110-8626 東京都台東区東上野1-26-2ジュエラーズタウンオーラム5F
TEL(03)3835-8567 FAX(03)3839-6599
<http://www.jja.ne.jp> E-mail info@jja.ne.jp

2007年10月以降移転先住所
〒110-8626 東京都台東区東上野2-23-25
TEL(03)3835-8567 FAX(03)3839-6599
<http://www.jja.ne.jp> E-mail info@jja.ne.jp

禁無断転載複写



社団法人日本ジュエリー協会